



株式会社ハブ

東証PRIME3030

2023年2月期

第3四半期

決算補足説明資料

2023年1月13日

■ 2023年2月期第3四半期の実績

- ・ 外食機会の減少や消費行動の変容等の影響が残り、エネルギー・原材料コストの高騰は継続
- ・ 出店・退店はなし
- ・ 11月は全社黒字化

■ 2023年2月期第3四半期の取組

- ・ 各月キャンペーン・イベントを実施、当社でしか楽しめない商品・体験を提供
- ・ イベントにおいてはパートナー企業との協業により、強い来店動機を創出
- ・ 高騰するコストへの対策としてメニュー価格を改定

■ 2023年2月期業績の見通し

- ・ 外部環境の厳しさは続く見通し、引き続きコスト構造の最適化に取り組む
- ・ メニュー・スポーツ観戦・IPコンテンツを活用し明確な来店動機の創出に挑戦

1. 2023年2月期第3四半期の実績
2. 2023年2月期第3四半期の取組
3. 2023年2月期業績の見通し

1. 2023年2月期第3四半期の実績

1 店舗の 状況

出店・退店共になし
3月下旬より全店的に平常営業継続中
※東京都5月22日 までリバウンド警戒期間

2 売上の 状況

計画比 97.9%
前年同期比 431.1%
2020年2月期比 58.8%（コロナ禍前比較）

3 業績の 状況

実績（前年同期差）
営業利益 ▲582百万円（+329百万円）
経常利益 ▲598百万円（+332百万円）
当期純利益 ▲293百万円（▲730百万円）

4 財務の 状況

純資産 2,235百万円
自己資本比率 30.0%（前年度末差 ▲3.6%）
有利子負債 3,571百万円（前年度末差 ▲290百万円）



86店舗



15店舗



1店舗

- 店舗数 102店舗
- 2024年2月期北海道札幌市へ出店予定

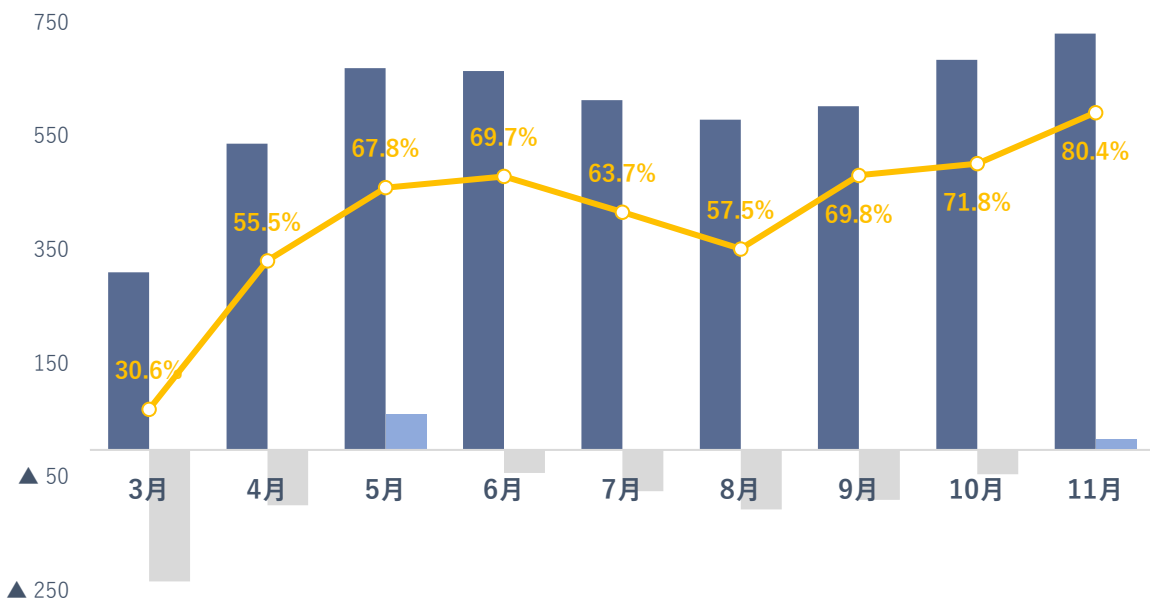
東北	宮城県	2店舗 + 球場内売店 1
関東	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県	80店舗 + 球場内売店 2
中部	愛知県	4店舗
近畿	京都府、大阪府、兵庫県	14店舗
九州	福岡県	2店舗

月次売上高推移 客数・客単価推移

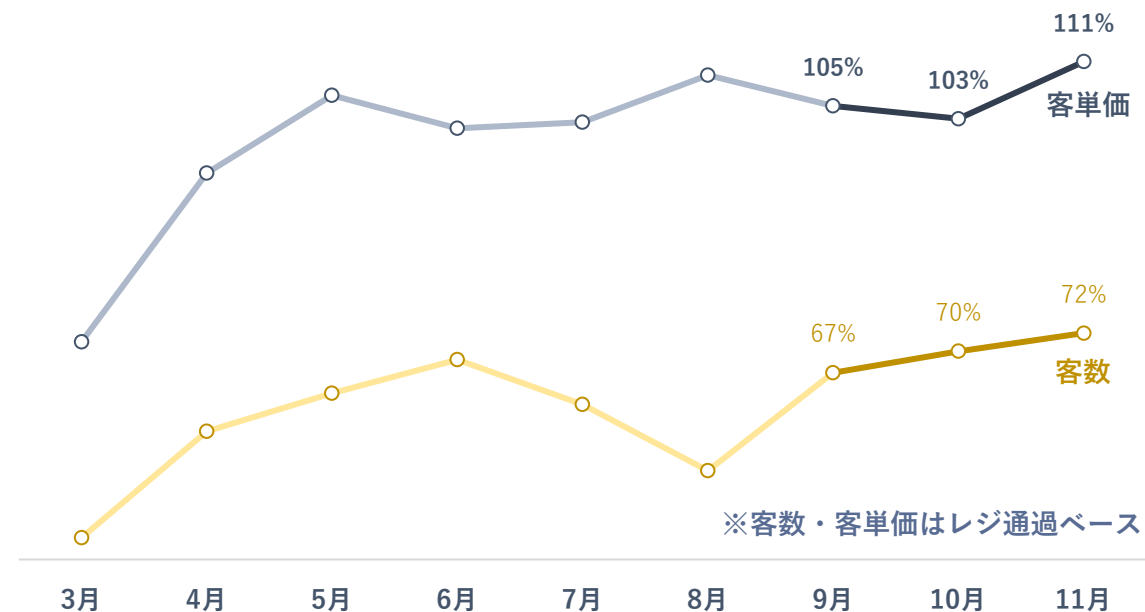
月次売上比較・売上高回復率

■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 売上高回復率

(単位：百万円)



客数・客単価トレンド比推移



※客数・客単価はレジ通過ベース

長引く感染症流行の影響が残りつつも、ウィズコロナ移行に伴い、堅調な回復傾向、11月単月では営業利益黒字化

2022年11月に価格改定を実施
客数においては、各キャンペーン・イベントの実施が集客の回復に寄与

（単位：百万円）

	2022年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	前年 同期差	前年 同期比
売上高	1,255	5,411	4,156	431.1%
売上原価	382	1,635	1,253	428.2%
原価率	30.4%	30.2%	▲0.2pt	-
販売費及び一般管理費	1,801	4,397	2,596	244.2%
営業利益又は営業損失	▲911	▲582	329	-
営業利益率	-	-	-	-
経常利益又は経常損失	▲930	▲598	332	-
経常利益率	-	-	-	-
特別利益	3,236	350	▲2,886	10.8%
特別損失	1,942	115	▲1,827	5.9%
法人税等合計	▲72	▲68	4	-
当期純利益又は純損失	436	▲293	▲730	-
純利益率	34.7%	-	-	-

（単位：百万円）

	2020年2月期 第3四半期	2023年2月期 第3四半期	2020年2月期 同期差	2020年2月期 同期比
売上高	9,209	5,411	▲3,798	58.8%
売上原価	2,463	1,635	▲828	66.4%
原価率	26.8%	30.2%	3.4%	-
販売費及び一般管理費	6,215	4,397	▲1,818	70.8%
営業利益又は営業損失	583	▲582	▲1,165	-
営業利益率	6.3%	-	-	-
経常利益又は経常損失	592	▲598	▲1,190	-
経常利益率	6.4%	-	-	-
特別利益	0	350	350	-
特別損失	5	115	110	2281.0%
法人税等合計	186	▲68	▲254	-
当期純利益又は純損失	400	▲293	▲693	-
純利益率	4.4%	-	-	-

HUB 業績状況 (貸借対照表)

(単位：百万円)

	2022年2月期 年度末	2023年2月期 第3四半期末	前期末差
資産合計	7,661	7,457	▲204
流動資産	5,061	4,958	▲103
固定資産	2,599	2,498	▲101
負債合計	5,087	5,221	134
流動負債	1,632	2,110	478
固定負債	3,454	3,110	▲344
純資産合計	2,573	2,235	▲338
自己資本比率	33.6%	30.0%	▲3.6%
有利子負債残高	3,861	3,571	▲290

※主に未収入金が減少の為

※主に減価償却等により有形固定資産が減少の為

※主に長期借入金及び繰延税金負債が減少したものの、買掛金及び未払消費税が増加した為

※主に四半期純損失293百万円を計上した為

2. 2023年2月期第3四半期の取組

創業50年ビジョン (2022-2030)
心を豊かにするリアルコミュニケーションの場として
PUBが社会において重要な役割を果たし続けている

創業50年ビジョン (2022-2030) 目標	中期経営計画 (2022-2024) 主な具体的実行施策
出店ターゲットを47都道府県に拡大し 厳選した200店舗体制を構築する	<ul style="list-style-type: none"> 日本全国を対象に出店優先エリアの選定 ⇒15店舗出店 (117店舗) 出店試算表の改訂 ローコストパッケージの開発・確立 新ブランドの確立
積み重ねてきた価値を磨き続けると共に 新たな感動体験を創造する	<ul style="list-style-type: none"> 単品メニューの掘り下げ (フィッシュ進化) アプリ内容の充実・機能の追加 ハブマネー売上構成比の拡大 コラボ取り組み拡大 (新規取り組み、SNS等)
業界の常識を覆す「最高の処遇」と 「多様な働き方」を達成する	<ul style="list-style-type: none"> 人事制度改定 (年収800万店長 約10名輩出) ハブ大学カリキュラム見直し 有給取得促進
地域に愛される店舗を運営し 持続可能な社会の実現に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> 厨房機材及び商材を精査し、食品ロス低減を推進 メニューラインナップ見直し
企業価値を継続的に高め、 魅力的な株主還元を実現する	<ul style="list-style-type: none"> プライム市場 上場維持計画管理 コーポレートガバナンスコード対応 会社認知度向上

ネアカ
のびのび”
へこたれず”

中期経営計画（2022-2024）「復活」フェーズの初年度
当社が大切にするマインドを年度方針に据える

月別キャンペーン	商品プロモーション	コラボレーション
9月 人と人をつなぐカクテルキャンペーン	JAMESON HUB渋谷3号店ラッピング	
10月 ハロウィンキャンペーン	ハブエール・リアルエールリニューアル	<p>【競馬】netkeibaコラボ</p> <p>【サッカー】Jubilo応援イベント</p>
11月 バドワイザーキャンペーン	デュワーズ12年業務用ボトル販売量 世界一位達成	<p>【サッカー】グランパストークショー</p> <p>【サッカー】Fansta お店de観戦割</p> <p>【サッカー】観戦イベント</p>

- 月別のキャンペーンを始めとする販促活動とパートナー企業との協業により、HUB・82でしか楽しめない商品、イベントを今期においても展開
- SNS活用を含むプロモーションで認知を広め、来店いただくことで従来のHUB・82の体験を再認知いただき、新規・既存顧客の集客に寄与

2022年11月～改定内容

ドリンク

- 最大のプライスゾーンを600円台から700円台へ変更
- 低価格帯と高価格帯のアイテム数は維持

フード

- 800円台から900円以上へ高価格帯のプライスゾーンを変更
- 最大のプライスゾーンは400円台を維持



11月度実績影響（10月度比較）

売上高 10月比 **106.8%**

客数 10月比 **97.8%**
※客数はレジ通過客数

客単価 10月比 **109.1%**
※客単価は会計客単価

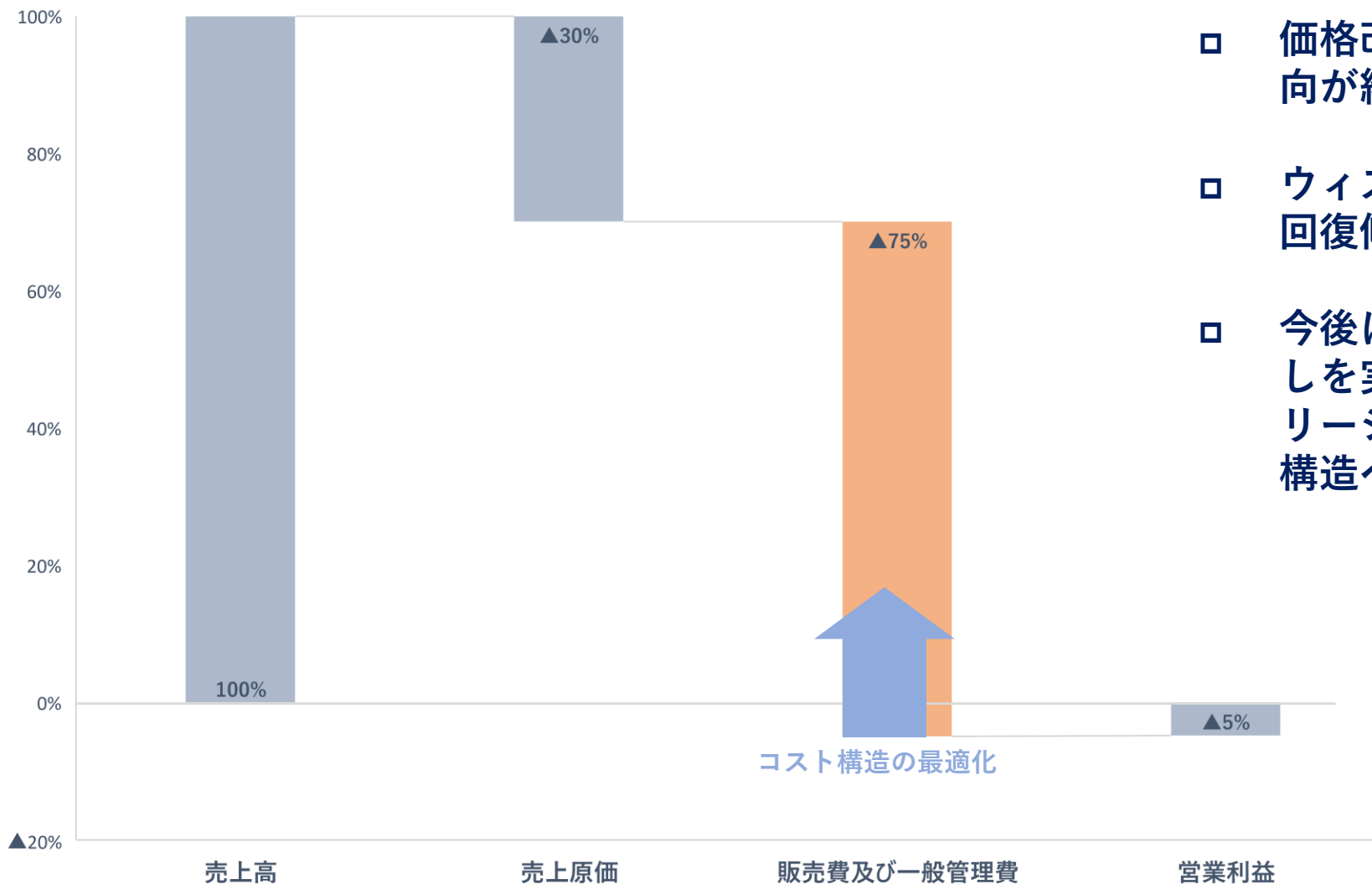
売上総利益率 10月差 **+2.6%**

【前月比較】

- 売上高はプラス6.8%、客数▲2.2%の影響に対し、客単価はプラス9.1%
- 売上総利益で10月度差で2.6%改善

3. 2023年 2 月期業績の見通し

第3四半期PL構造



- 価格改定により売上総利益は改善傾向が続く見込み
- ウィズコロナが進みトップラインも回復傾向が継続
- 今後は販売費及び一般管理費の見直しを実施し、キャッシュオンデリバリーシステムにおける最適なコスト構造へ改善していく

継続的なキャンペーン開催



各種キャンペーンを継続的に実施
プレゼント企画等で来店の契機をつくる

スポーツとのシナジー



PUBにおけるスポーツ観戦において、コロナ
禍で足が遠のいた顧客に再認知を図っていく

新たなコンテンツとのコラボ



スポーツに加え、IPコンテンツとも協業し、
新たな来店動機を創出

(単位：百万円)

2023年2月期

売上高

7,900

営業利益又は営業損失

▲390

経常利益又は経常損失

▲420

当期純利益又は純損失

▲120

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ハブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社ハブ 経営企画部 IR担当
TEL：03-3526-8682
<https://www.pub-hub.co.jp/contact/>